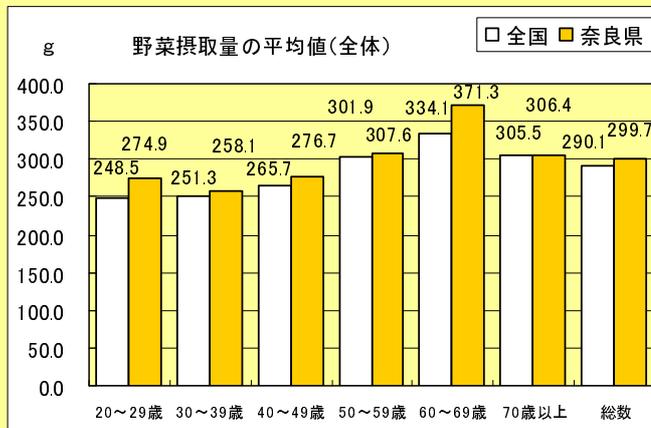
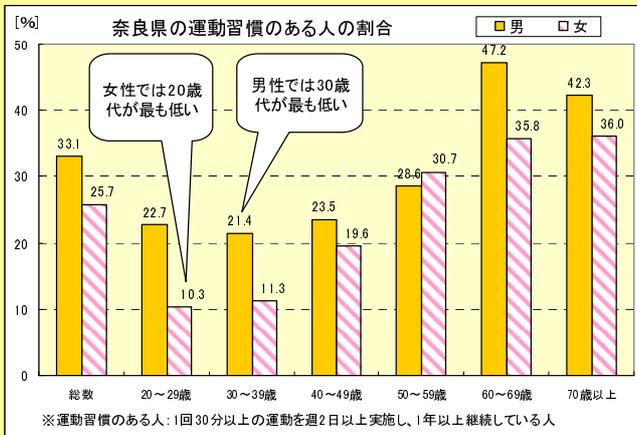


くらしの向上 [健康長寿の奈良県づくり ①健康づくり]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

1. 楽しみながら取り組める健康づくりの推進

県民が楽しみながら運動や食生活の改善などによる健康づくりに取り組めるよう、ライフステージに応じた健康情報の提供や地域での環境整備等に取り組めます。



メタボ予防体操

2. 健康診査受診・禁煙対策の推進

がん検診をはじめとした各種健康診査の受診促進を図るとともに、禁煙対策を進めます。

3. 心の健康づくり・自殺対策の強化

医師、弁護士、いのちの電話、関係行政機関等による「奈良県自殺対策連絡協議会」を運営し連携を図るとともに、自殺予防啓発や対策に関わる人材の養成など、総合的な対策に取り組めます。

1. 楽しみながら取り組める健康づくりの推進

- ・健康長寿基礎調査の実施、アドバイザー・スタッフの設置、健康情報の発信、保険者等による健康づくりプログラムの展開などによる健康長寿県づくりの推進[21]
- 健康・医療情報ポータルサイトにより信頼性のある最新情報をわかりやすく提供[35]
- ・地域スポーツクラブの設立・育成をサポートするスポーツ支援センターの設置[4]
- ・橿原公苑において気軽に楽しめるスポーツ設備等を整備[109]
- ・地域住民が気軽に体を動かせるように公園や広場に健康遊具等を設置[13]
- P F I手法による新県営プール整備・運営方策の検討[債務負担行為35]
- 広域的自転車ネットワークの構築と大規模自転車道の走行環境の改善[250]
- 健康ウォーキングの奨励、メタボリック体操の普及促進[5]
- ・県内大学生との連携による若年世代の食生活改善[1]
- ・「福祉部」を「健康福祉部」に改称し、「健康づくり推進課」を設置[県庁力]



2. 健康診査受診・禁煙対策の推進

- ・「奈良県がんと向き合う日」キャンペーンによるがん予防等の啓発[2]
- 集客施設や各種イベント会場での啓発等によるがん検診受診の促進[2]
- 受動喫煙防止や妊婦等の喫煙防止対策の推進[1]

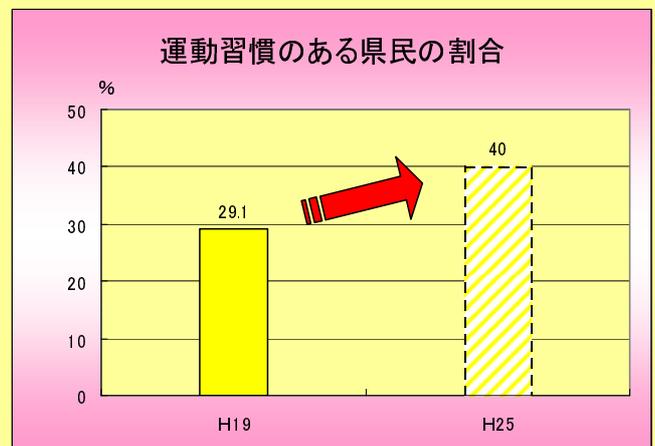
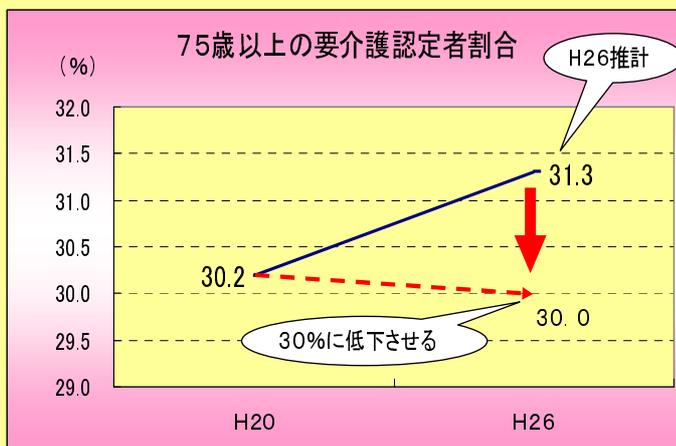


メタボチェック

3. 心の健康づくり・自殺対策の強化

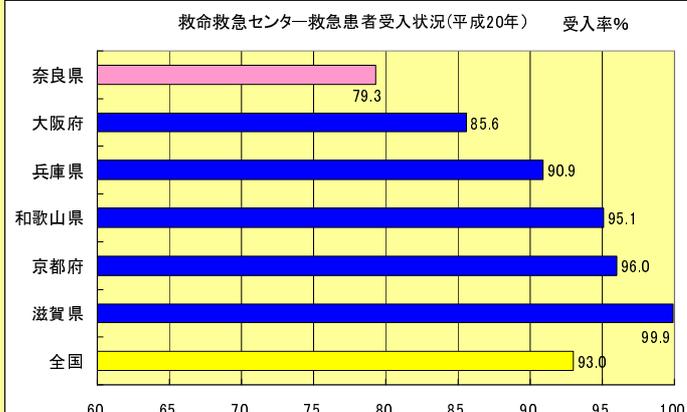
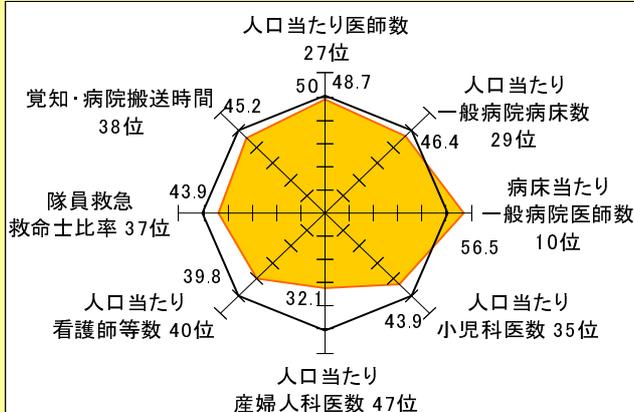
相談機能の充実や人材養成等による自殺対策の緊急強化[70]

目標に向けた状況



くらしの向上 [健康長寿の奈良県づくり ②医療の充実]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

地域医療再生に向けた取組の推進

- ・ 北和地域及び中南和地域において、高度医療拠点病院の設置に向けた取組を進めます。
- ・ 高度医療拠点病院と地域の医療機関との適切な役割分担や救急搬送基準の見直し等による救急医療体制の充実、産科医の確保や総合周産期母子医療センター運営等による安心できる周産期医療体制の確保に努めます。
- ・ 病病連携や病診連携など、地域の医療資源の効果的活用を図り、重要疾患の診療連携・ネットワーク化を推進します。
- ・ がん診療連携拠点病院での質の高い医療の提供をはじめとして、県内のがん患者の実態を踏まえた総合的ながん対策を推進します。
- ・ 安心できるへき地医療の確保のため、総合的な診療ができる「総合医」の育成や医師確保に取り組みます。
- ・ 県立医科大学との協定により地域に必要な医師を派遣するとともに、臨床研修医の確保や奨学金制度等による医師確保対策を進めます。また、働きやすい病院づくり等の取組により看護師確保に努めます。
- ・ 安心できる地域医療を確保するため、県立病院や県立医科大学の拠点医療機能の確保・充実を図ります。



地域医療再生に向けた取組の推進

○高度医療拠点の整備

- ・高度医療拠点病院(マグネットホスピタル)整備に向けた計画策定等[115]
- ・県立医科大学附属病院(仮称)中央手術棟の建設[567]



医大附属病院NICU

○救急医療・周産期医療体制の充実

- ・救急相談窓口「奈良県救急安心センター(#7119)」の運営[96]
- ・救急搬送及び医療機関の受入実施基準の策定[10]

救急医療体制の充実(・受入困難患者用空床確保、医師処遇改善)[91]

- ・二次救急医療の充実を図るため宇陀市立病院の医療機器導入を支援[30]
- ・一次救急医療体制の充実[1]、・新生児搬送体制の充実[6]

産科医療体制の充実(・NICU新生児科医の処遇改善、分娩手当の支給等)[26]

○医療連携体制の構築

- ・救急医療連携体制の構築(公立病院連携、疾患別連携、アドバイザー設置)[9]
- ・救急重要5疾患に関する県立病院及び医大附属病院の医療機能情報の分析・公表[47]
- ・専門医と非専門医の診療連携や人的ネットワークの構築による糖尿病医療の充実[28]

○がん対策の推進

- ・県内のがん医療提供体制の実態把握等[21]、がん診療連携拠点病院等への支援[81]
- ・がん患者の実態把握のための地域がん登録の推進[9]

○へき地医療体制の充実(取組内容は、「中南和・東部地域の振興」に記載)

○医師・看護師の確保

- ・県立医科大学との連携による医師派遣システムの運営[80]

医師確保対策の推進(臨床研修医確保、・女性医師の復職支援、医療ｸﾞｰｸ設置促進等)[52]

特定診療科等の医師やへき地勤務医の確保に向けた奨学金の貸付[109]

看護師確保対策の推進(・新人看護職員卒後研修の実施、・看護職員メンタル相談窓口の設置、・短時間正規雇用など多様な働き方の実現支援等)[42]

○拠点医療機能の確保・充実

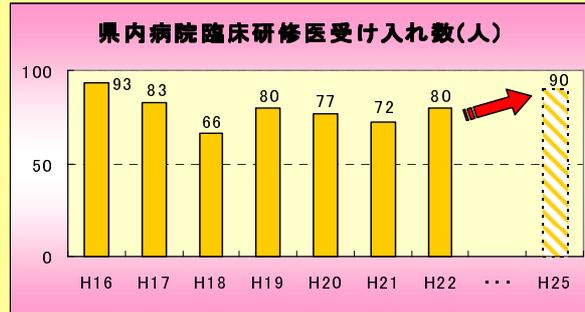
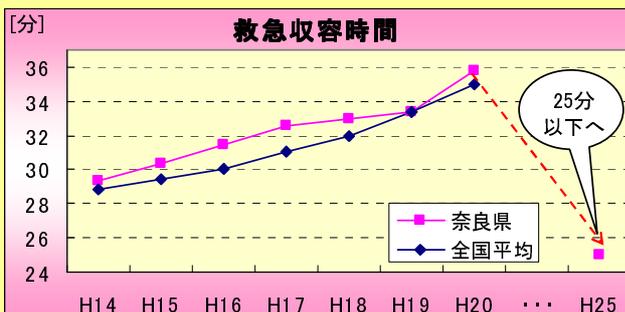
県立病院の運営[3, 287]

県立医科大学の運営支援等[5, 343](既発行県債の償還を含む)



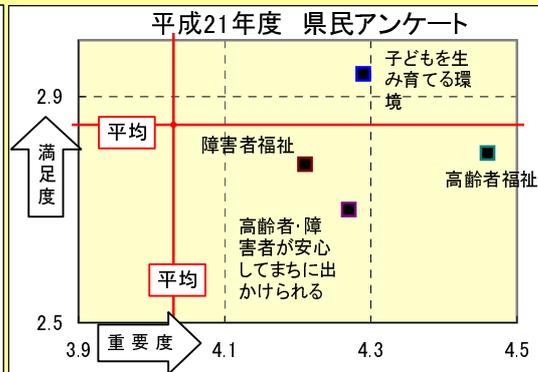
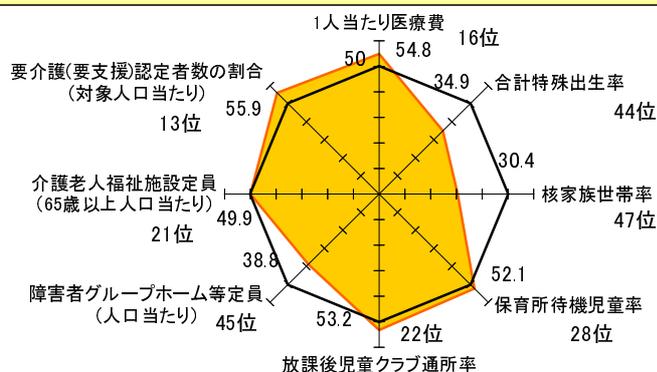
奈良県立医科大学附属病院

目標に向けた状況

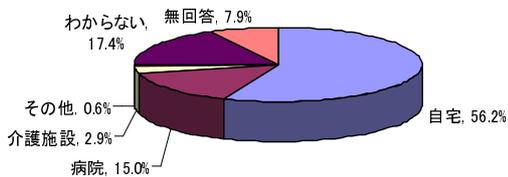


くらしの向上 [健康長寿の奈良県づくり ③福祉の充実]

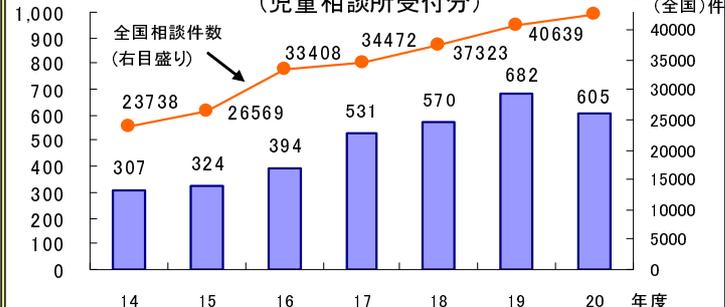
施策ニーズ(課題)の認識



最期を迎えたい場所 (高齢者の生活・介護等に関する実態調査(平成21年度))



奈良県児童虐待相談件数の推移 (児童相談所受付分)



施策の方向性

1. 施設・在宅両面からの福祉サービスの充実

- ・ 障害者や高齢者などが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、日常生活のサポートや相談支援体制の充実を図ります。
- ・ 福祉サービスを安定的に提供するため、サービス基盤の整備や人材の確保に努めます。



2. 障害者や高齢者の就労支援・社会参加の促進

雇用創出や工賃の改善等により、障害者や高齢者が安心して働ける環境の整備に努めるとともに、地域での社会参加を支援します。

3. 子育て支援の充実

保育サービスの充実や子育ての悩み解消など、子育てしやすい地域づくりを進めます。



4. 児童虐待の防止強化

育児の不安や負担感の解消による児童虐待の未然防止に努めるとともに、早期発見・早期対応に向けた見守り体制の強化や発生後対策の充実に取り組みます。

1. 施設・在宅両面からの福祉サービスの充実

○日常生活のサポートや相談機能の充実

- ・ライフステージに応じた障害者トータルサポート体制の構築[2]
 - ・重症心身障害児(者)ケアの充実に向けた医療ネットワークの構築及び看護師確保コーディネーターの設置等[20]
 - ・医療・福祉等の関係団体との連携による地域包括支援センターの機能強化[1]
 - ・高齢者の地域生活を支援する保健・医療・介護・福祉サービス連携システムの構築[1]
 - ・NPO団体や民間企業等と協力して高齢者の在宅生活を支えるネットワークを構築[1]
- 相談機能の充実(障害の種別を問わない総合相談拠点の設置[13]、専門性の高い相談等に対応するための圏域マネージャー配置[24]、高齢者総合相談センターの運営[13])
- ・光明皇后大遠忌1250年記念地域福祉シンポジウムの開催[3]

○サービス基盤の充実

- ・障害者グループホームの整備[28]、・障害者の住まいのあり方の検討[1]、小規模介護施設の新・増設支援[886]、特別養護老人ホームの整備[354(債務負担行為395)]

○福祉人材の確保

- ・魅力ある福祉・介護の職場づくりを支援[2]
- 福祉に関心のある求職者への雇用の創出、潜在的有資格者への再就職支援等[594]、介護職員の処遇改善[1, 838]



2. 障害者や高齢者の就労支援・社会参加の促進

授産施設等の工賃向上を図り障害者の働きがいを支援[24]

障害者自立支援法に基づくサービスへの移行に向けた特別対策の推進[1, 115]

- ・地域の社会的課題に対応する高齢者や障害者等が中心となった企業の創設を支援[9]

3. 子育て支援の充実

待機児童の解消に向けた保育所の新・増改築[1, 231]、放課後児童クラブ運営支援等[427]

戸別訪問や就職活動支度費の支給等によるひとり親家庭等への支援[7]

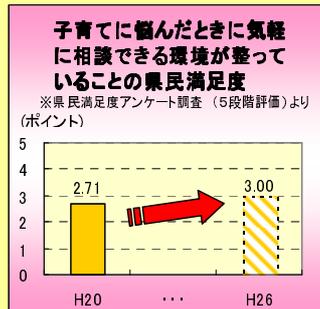
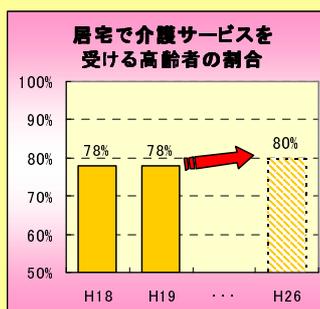
- ・子ども手当の創設(13,000円/月・人)[2, 509]

4. 児童虐待の防止強化

県・市町村・関係機関による「みんなで見守る」児童虐待防止・支援体制の確立[5]

- ・中央こども家庭相談センターの機能充実に向けた検討[2]

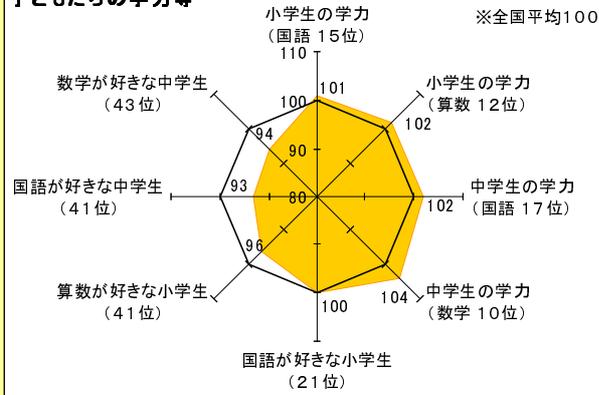
目標に向けた状況



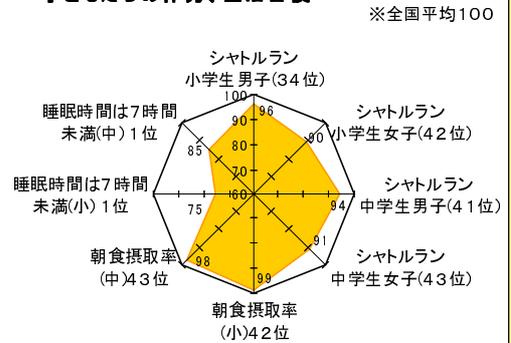
くらしの向上 [教育の充実]

施策ニーズ(課題)の認識

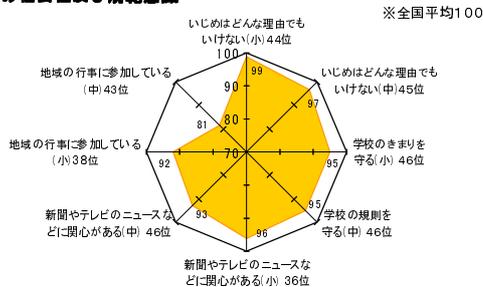
子どもたちの学力等



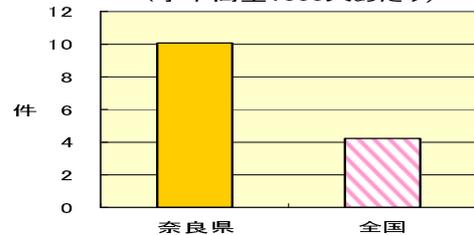
子どもたちの体力、生活習慣



子どもたちの社会性及び規範意識



暴力行為の発生件数(H20) (小中高生1000人あたり)



施策の方向性

1. 家庭・学校・地域の連携による教育の充実

子どもを自立した社会人に育てていくため、家庭における子どもの生活習慣づくりや、学校における学習意欲、体力、規範意識等の向上、暴力行為の減少に向けた取組を推進します。

また、学校での取組を支える教育環境の整備・充実を図るとともに、地域の教育力の強化に取り組みます。



2. ライフステージに応じた学びの支援

誰もがライフステージに応じた学びを生涯にわたって継続し、学んだ成果を生かせる地域づくりを進めます。



1. 家庭・学校・地域の連携による教育の充実

○家庭における子どもの生活習慣づくり

- ・幼児の運動能力・生活習慣等調査の実施[2]、
- ・ノーテレビデーや規則正しい就寝・起床・食事等を実践する家庭と学校の協働プロジェクトの推進[3]

○学校における学習意欲、体力、規範意識等の向上、暴力行為の減少

- ・小学校での英語教育推進のための講師配置[12]、
- ・県立学校及び私立学校における運動場芝生化の推進[77]、
- ・子どもの体力向上に熱心に取り組む小・中学校を表彰[1]、
- ・規範意識向上に向けた生徒指導指針の策定[1]、
- ・学校と警察が連携して少年の非行防止や立ち直り支援等に取り組むスクールサポーターの配置[7]
- ・弾力的学習指導を行う特別教室による不登校対策の推進[4]



○学校教育環境の充実

- 教職員の配置(小・中学校7,653人、高校2,098人、特別支援学校1,020人)
 県立学校施設の耐震化及び老朽化に伴う改修等の実施[719 (債務負担行為722)]
 私立学校・幼稚園の教育経常費を助成[6,335]
 ・県立高校の授業料無償化[国庫支出金収入2,624]、
- ・私立高校等就学支援金[1,714]
- 県独自の私立高校等の授業料軽減[120]

○地域の教育力の充実

- ・通学合宿のモデル実施、体験プログラムの推進等による「地域の教育力」の向上[6]
- ・ニート・ひきこもり支援を葛城市と連携して実施[1]
- 学校支援地域本部による地域ぐるみの学校運営支援[135]



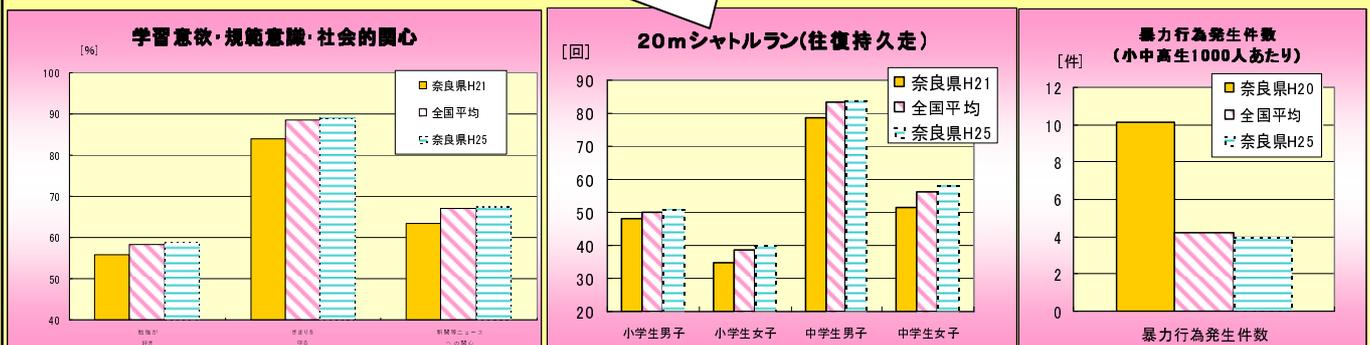
環境教育

2. ライフステージに応じた学びの支援

- ・高校生を対象とした乳幼児とのふれあい体験の実施[3]
 - ・母親力・父親力の向上支援(多世代交流子育てセミナー・父親子育てセミナーの開催)[6]
- 情報誌「まなび奈良」による生涯学習情報の発信[1]、講座・セミナー等の開催(県立大学「やまとまほろば学」講義、図書情報館公開講座、橿考研附属博物館考古学講座等)

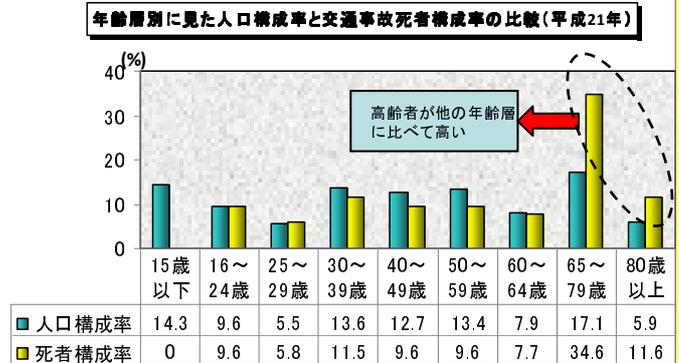
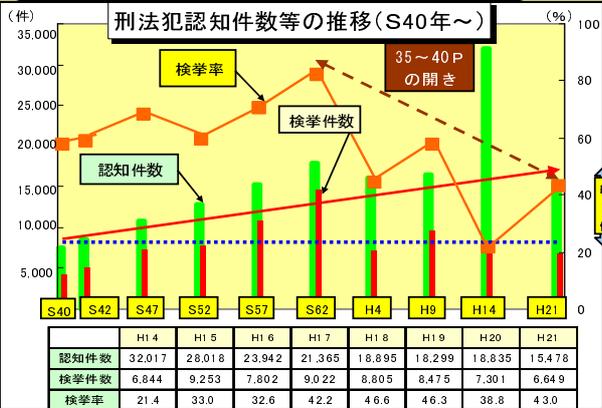
目標に向けた状況

20m走行を電子音に合わせて繰り返し、その回数を記録とする。電子音の間隔は、1分ごとに短くなっていく。

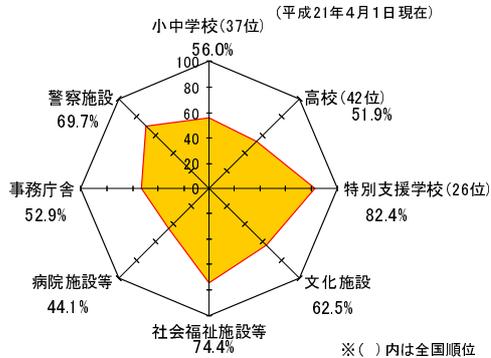


くらしの向上 [安全・安心の確保]

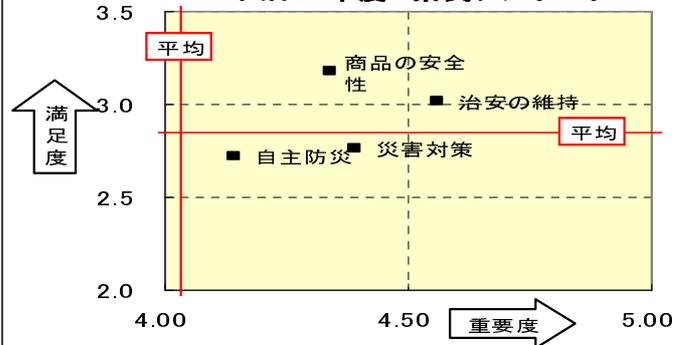
施策ニーズ(課題)の認識



公立学校及び県有建築物の耐震化率



平成21年度 県民アンケート



施策の方向性

1. 防災・危機管理の強化

- 自主防災組織の拡大やリーダー養成等による地域の防災力の向上を図るとともに、ライフラインや建築物の耐震化を進めます。

また、消防力の強化に向けた市町村消防広域化の取組を推進します。

- 浸水被害の軽減や土砂災害防止等に取り組むとともに、新型インフルエンザの蔓延防止や食の安全の確保など、安心できる地域づくりを進めます。



防災訓練

2. 犯罪及び交通事故抑止対策の推進

- 初動警察体制の強化や地域の自主防犯活動の拡大などにより、犯罪抑止を図ります。
- 道路交通環境の整備や交通マナーの普及などにより、交通事故抑止を図ります。

1. 防災・危機管理の強化

○防災・危機管理能力の強化

- ・地震防災対策アクションプログラムの実効性向上に向けた中間見直しの実施等[2]
- ・自主防災組織の組織化促進に向けて結成時の防災資機材等の購入を支援[10]
- 地域住民・企業への啓発やリーダー養成等を通じた地域防災力の向上[2]
- 防災総合訓練、凶上訓練、林野火災消火訓練の実施[4]
- 県営水道施設の耐震化推進[135（債務負担行為100）]
- ・国の住宅版エコポイント制度の対象となる住宅リフォームにあわせて耐震改修を行った場合に県内商品券を交付[10]
- 既存木造住宅等の耐震診断・耐震改修への支援充実[12]
- ・多面的な流域貯留による洪水対策の検討[20]
- 土砂災害警戒区域等の指定及び県民への防災情報提供システムの充実[451]



防災訓練

○新型インフルエンザ対策の強化

発熱外来の整備、休日夜間診療体制の強化、発生状況の分析・予測等[141]

○食と生活の安全・安心の確保

食品衛生指導の推進[2]、消費生活相談体制の充実、消費者被害防止の取組を強化[95]

2. 犯罪及び交通事故抑止対策の推進

○犯罪抑止対策

- ・警察官の増員4名(警察官定数2,413人)
- ・署活系無線システムの高度化等による初動警察体制の強化[10]
- ・犯罪情報や不審者情報等を地域住民等に迅速に提供する地域安全総合サポートシステムの構築[5]
- 奈良警察署の移転整備に向けた設計[71]
- 交番・駐在所の新設・改築(奈良警察署(仮称)辰市交番の新設等)[146]
- 青色防犯パトロールや自主防犯組織の拡大等による安全・安心のまちづくり推進[8]



○交通事故抑止対策

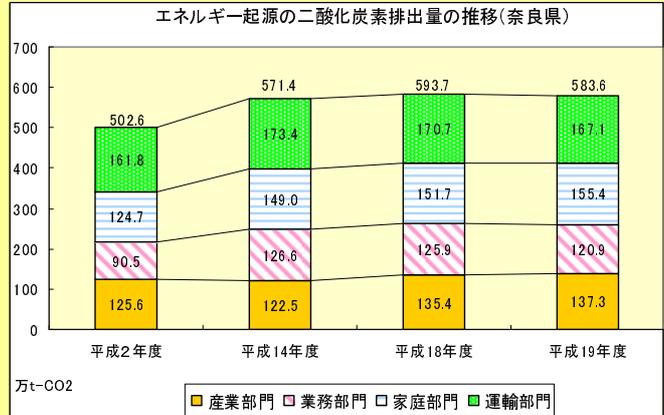
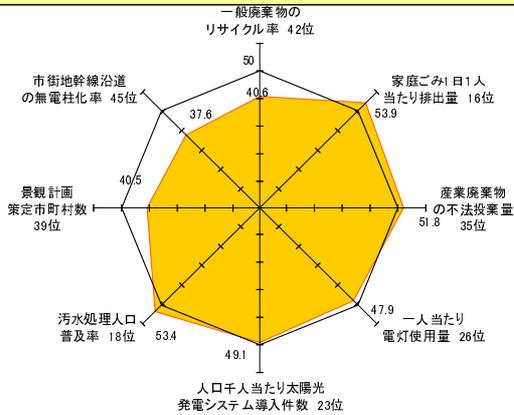
交通安全施設の整備(信号機の新設・改良、灯火標識の整備等)[508]

目標に向けた状況



くらしの向上 [くらしやすいまちづくり]

施策ニーズ(課題)の認識



施策の方向性

1. 景観づくりの推進

景観条例や景観計画等の効果的運用、地域住民や市町村との連携のもと、美しく風格のあるまち並みを守り、創り、育てます。



橿原市今井町

2. 自然環境の保全

希少野生動植物の保護や本県が有する豊かな自然環境の保全に努めます。

3. きれいでくらしやすい生活環境の創造

大和川の水質改善や魅力的な歩行空間の創出など、快適な生活環境の創造に取り組むとともに、産業廃棄物の排出抑制・再生利用・適正処理による環境負荷の少ない循環型地域づくりを推進します。

また、太陽光発電の普及などによるCO2排出抑制に取り組めます。



佐保川清掃

4. 地域資源を活用した魅力的なまちづくりの検討

川辺のまちづくりや高齢者がくらしやすいまちづくりなど、地域の特徴を活かした住み良いまちづくりの検討を進めます。

5. 人権を尊重した社会づくり

人権教育、啓発、相談などを柱に、人権尊重の視点に立った行政を推進します。

1. 景観づくりの推進

- ・景観条例に基づく景観住民協定の締結及び修景整備の推進等[5]
- 奈良県屋外広告物条例の改正による、広域幹線道路交差点周辺地域の景観保全[県庁力]大宮通り（奈良市）沿道の景観づくりの推進等[8]、無電柱化の推進[137]
- ・国の住宅版エコポイント制度の対象となる住宅リフォームにあたって景観に配慮した場合に県内商品券を交付[11]

2. 自然環境の保全

- ・希少野生動植物保護のための保護管理事業計画の策定[2]
- 森林環境教育の推進[29]



広陵町馬見北

3. きれいでくらしやすい生活環境の創造

- ・健全な水循環の構築に向けたビジョンの策定[1]
- ・効率的かつ安定的な水道水の供給に向けた県域水道ビジョンの策定[13]
- 大和川水質改善の推進(菰川水質改善の検討、支川水質調査の強化)[14]
- ・植栽による彩りある河川空間の創出[5]、・幹線沿道緑化によるもてなし空間の創出[48]
- 太陽光発電の普及拡大に向けて導入経費を無利子貸付[40（債務負担行為176）]
- ・環境保全基金を活用し、県内民間事業者が行う太陽光発電や省エネ施設の導入、市町村が取り組む公共施設省エネ化等を支援[427]
- ・福祉施設等との協働による食用油回収利用システムの構築[10]
- ・畜産バイオマスの有機肥料としての活用を拡大[8]
- 産業廃棄物の排出抑制・再生利用・適正処理の推進[210]



三代川

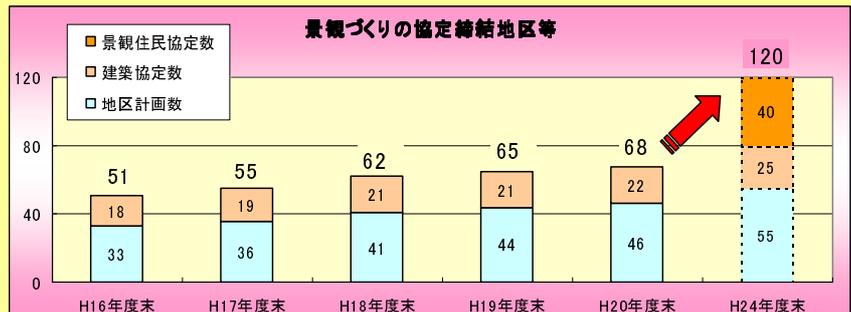
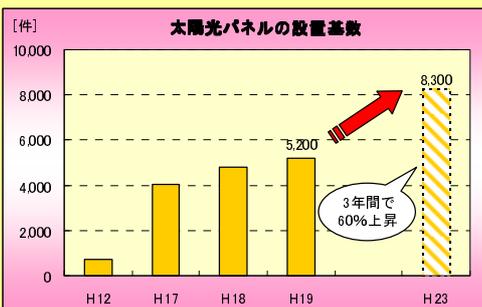
4. 地域資源を活用した魅力的なまちづくりの検討

- ・地域の元気力アップに向けた一市一まちづくりの推進[24]
- 既存施設や河川空間等を活用した、高齢者が暮らしやすいまちづくりや福祉のまちづくりの検討[11]、・「まちなか」と「郊外」の住み替え円滑化の推進[1]
- 公共交通利用促進に向けた駅を中心としたまちづくりの推進[10]

5. 人権を尊重した社会づくり

- 日常的に態度・行動に結びつくような人権教育の充実[38]、多様な媒体・手法による人権啓発の推進[44]、・人権問題等に関する「こころの健康相談」の実施[1]

目標に向けた状況



2本柱を支える取組

【効率的・効果的な基盤整備】

1. 「選択と集中」の徹底

○効果や緊急性を踏まえ、以下の視点により「選択と集中」を徹底

- ・ 県民生活の安全・安心の確保
交通事故対策、中山間地域の道路防災対策、浸水常襲地域対策、土砂災害対策等
- ・ 適切な維持・補修による既存施設の機能維持
- ・ 「奈良の今後5カ年(H21~H25)の道づくり重点戦略」に基づく広域幹線道路の整備
供用目標宣言路線・重点整備宣言箇所の整備等
- ・ 大規模プロジェクト等の計画的推進
奈良公園及び周辺地域の整備、平城宮跡周辺地域の整備等
- ・ 無電柱化の推進など、景観向上に資する整備の推進
- ・ バス等公共交通機関の利便性向上のための交通基本戦略の策定等

2. コストの縮減

○既存施設の長寿命化の推進

道路橋や県営住宅などについて、事後的な維持管理から、事前の適切な対策により安全性、耐久性を確保する予防保全型維持管理へ転換し、ライフサイクルコストを縮減

3. 部局間連携やソフト施策との事業間連携等による取組の効果的推進

- ・ 大和川清流復活ネットワークによる流域住民やNPO団体、市町村、国土交通省等と連携した水質改善の推進
- ・ 警察や国土交通省、関係市町村との連携による交通事故・渋滞対策の推進

4. 地域住民等の理解と協力の確保

○見える化の推進

- ・ 道路が有する課題をわかりやすく示し県民からの声を聞きながら策定した「交通安全対策プラン」や「渋滞解消プラン」を効率的・効果的に推進
- ・ 大和川水系の本川・支川の水質状況をわかりやすく公表し、流域住民との協働による水質改善の取組を推進

【協働の推進及び市町村の支援】

(百万円)

1. NPO等との協働の推進

○NPO等の活動支援

- ・ 「奈良県協働推進指針」の推進[県庁力]
- ・ NPO法人の設立を支援するセミナー・相談会の開催[1]
- ・ NPO法人の活動内容や会計情報をインターネットで公表[2]
- ・ 奈良県協働推進基金を創設しNPO活動等を支援[11]
- ボランティア団体、NPO法人、自治会等が行う地域貢献活動を助成[8]

○多様な協働の推進

みんなで・守ロード、地域が育む川づくりの推進（地元自治会、ボランティア団体、企業等が行う道路清掃活動、河川清掃・植栽活動等への支援）[9]
早稲田大学との連携による諸課題への対応（奈良の魅力観光素材調査の実施等）[8]

2. 市町村の支援

○市町村との役割分担を踏まえた支援のあり方を検討

- ・奈良県の実情に即した県と市町村の具体的な役割分担方策について検討[26]
 - ・奈良県市町村国民健康保険のあり方の検討[3]
- 市町村税の共同化組織に向けた検討[6]

○市町村への具体的支援

- 早期健全化団体となり財政健全化に取り組む市町村へ無利子貸付による支援[1,000]
- ・市町村管理橋りょうの点検業務や長寿命化修繕計画策定業務を県が受託[19]
- 市町村行財政改善検討会を開催し市町村と協働して課題解決方策を検討[9]
- 市町村等が独自に取り組む創意工夫あふれる取組を支援[180]
- 市町村が実施する広域振興や過疎・辺地等の振興に要する事業費を貸付[500]

○市町村の現状分析や情報提供等を通じた支援

- ・市町村の行政経営状況の分析・診断手法の検討[12]
- 市町村の行政経営力向上に向けた市町村長サミットの開催と人材養成支援[4]

【行政運営の効率化と財政の健全化】

(百万円)

1. 歳入・歳出両面からの抜本的な取組の推進

- 県税の徴収強化(市町村税・県税の一斉滞納整理強化期間の実施等)
- 県営住宅家賃や貸付金等にかかる未収金対策の強化(徴収業務の民間委託等)
- 資金調達の多様化(全国型市場公募地方債の発行 発行予定額200億円)
- 職員人件費の抑制(職員定数の削減、自主的な給与抑制の継続)
- 県単補助金の点検(・各種大会補助金の見直し)
- 使用料・手数料について公正な受益者負担の観点から見直し(効果額29百万円)

2. 県有資産の有効活用

- 県施設の北部地域再配置計画に基づく拠点施設等の整備[465(債務負担行為1,575)]
- 県有地の売却[売却収入220]

3. 行政運営の効率化及び公正で透明性の高い行政の推進

- 行政運営の効率化(・新たな行革計画の策定[1]、・モニターによる公の施設の評価[1]、
・桜井浄水場運転管理業務民間委託の拡大[78])
- 公正で透明性の高い行政の推進(公共工事電子入札の推進[20])

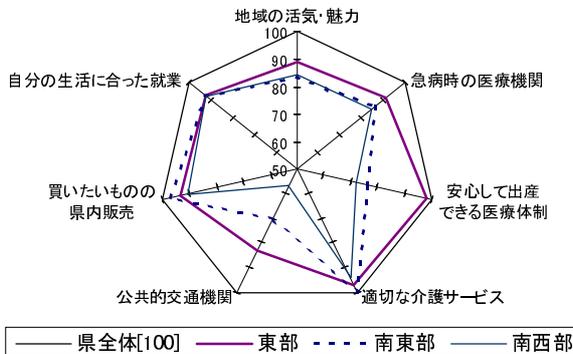
4. マネジメントサイクルの充実

- 県民ニーズ等の把握とわかりやすい情報発信
 - ・インターネットアンケート調査、県民アンケート調査によるニーズ等の把握[5]
 - ・動画サイト「インターネット放送局」の構築による県政情報の発信拡大[9]
 - ・県・市町村に関する一元的相談・問合せ窓口「相談ならダイヤル」の設置[6]
 - ・県民に夢と希望をもたらす活動に取り組む方々を表彰[3]
- 分析力の強化
「県民の暮らしに関する調査」等の分析を行い県施策の基礎データとして活用[4]
- マネジメント力の向上
先進事例の研究等による政策マネジメント力の向上[5]

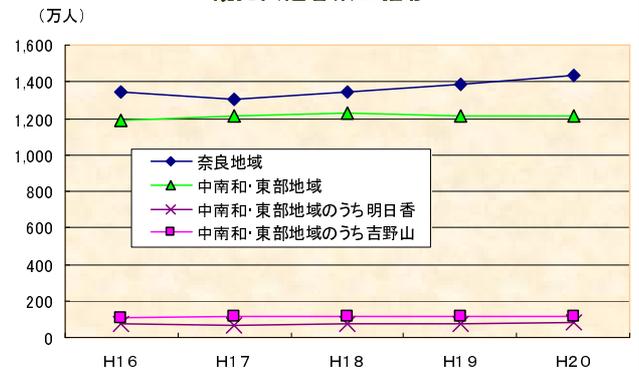
中南和・東部地域の振興

施策ニーズ(課題)の認識

平成21年度 県民アンケート(地域別満足度)



観光入込客数の推移



施策の方向性

1. 中南和・東部地域の振興方策の検討・実行

過疎地域を含めた中南和・東部地域全体の振興を目指した「(仮称)新過疎地域振興方針・計画」を策定し着実に実行します。

2. 地域産業の振興

地域産業の振興を図り、通勤圏内での安定した雇用機会の創出を図ります。



3. 安全・安心で快適な生活環境の整備

情報通信基盤や生活交通の確保などの生活対策を推進するとともに、へき地医療の確保、生活の道の整備等を図ります。

4. 地域資源を活用した観光交流の拡大と移住・定住の促進

旅行商品の造成や魅力の発掘、効果的な情報発信などにより、魅力ある地域資源を活かした観光交流の拡大を図るとともに、移住・定住を促進します。



十津川村果無集落

1. 中南和・東部地域の振興方策の検討・実行

- ・「(仮称)新過疎地域振興方針・計画」の策定及び実行[1]
- ・活力低下が著しい南部地域を対象とした「(仮称)南部振興計画」の策定及び実行[1]
- ・「地域振興部」に「南部振興対策室」を設置[県庁力]

2. 地域産業の振興

京奈和自動車道(仮称)樫原南・御所 I C 周辺における産業用地調査の実施[69](再掲)
 農林業の振興に向けた諸施策の推進(取組内容は、「農林業の振興」に記載)

3. 安全・安心で快適な生活環境の整備

○生活対策の推進

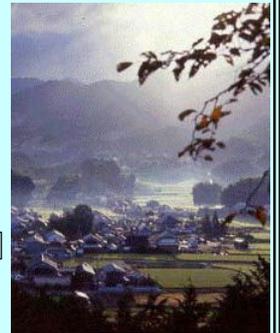
山間地域ケーブルテレビ施設整備の推進[78]、携帯電話不感地域解消の促進[12]
 広域的・幹線的バス路線維持のため運行費等に対し助成[151]、採算が悪化したバス路線に対し国庫補助採択要件を満たすよう県独自に支援等[101]
 過疎地域の移動手段確保に向けた通院バス運行の実証実験(十津川村～五條市)[29]
 宇陀市室生区への県営水道給水に向けた設計[23]

○へき地医療体制の充実

・県立五條病院やへき地診療所での「総合医」養成研修の実施等[3]
 へき地勤務医確保に向けた奨学金の貸付[109](再掲)

○道路整備の推進

供用目標宣言路線、重点整備宣言箇所の実施推進
 「なら安心みちネットプラン」の実行による安全な通行の確保[2, 152]

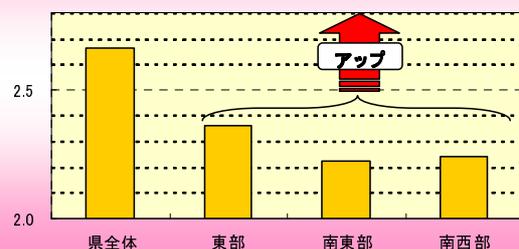


4. 地域資源を活用した観光交流の拡大と移住・定住の促進

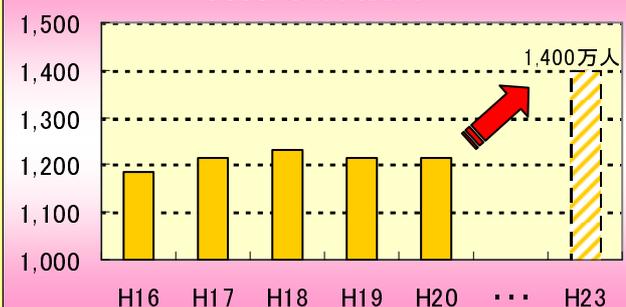
中南和の観光魅力の創出(・旅行商品の造成支援、・休耕田等を利用したアートプロジェクトの展開、・新たなターゲット開拓に向けたワークショップの開催等)[11]
 中南和観光情報の発信(・旅行予約サイトへの掲載、・動画の制作・配信等)[37]
 ・弘法大師の道(吉野山金峯山寺から高野山金剛峯寺)の魅力発掘[5]
 ・三重・和歌山と連携し「(仮称)吉野・高野・熊野の国」建国による観光施策の推進[5]
 「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録に向けた取組の推進[16]
 ・史跡・名勝飛鳥京跡苑池の復原に向けた検討・用地取得[220](再掲)
 ・明日香等の歴史展示推進に向けた検討[18](再掲)
 ドライバー向け観光情報の発信と E T C を活用した周遊促進の検討[20]

目標に向けた状況

自分の住んでいる地域の活気や魅力に対する満足度



中南和東部交流人口





平城遷都
1300年
記念事業



総務部 財政課
TEL 0742-22-5704
FAX 0742-23-6895